

大成ロテック

トプコンソキア

アカサカテック

# 転圧状況を一元管理

## データ共有で品質向上

大成ロテックは、トプコンソキア  
 ジシヨニクジャパン（本社・東京都  
 板橋区、田中俊太郎社長）、アカサカ  
 テック（本社・横浜市、加瀬順一社長）  
 と共同で、複数台のローラーの転圧状  
 況を一元管理するシステムを開発し  
 た。新東名高速道路豊田舗装工事（中  
 日本高速道路会社発注）で、同システ  
 ムをマカダムローラー2台による初期  
 転圧作業に適用し、有効性を確認した。  
 今後は高速道路や空港の舗装工事に積  
 極的に活用していく。



新東名高速道路豊田舗装工事で適用

開発したシステムは、複数  
 台の転圧管理状況を統合し、  
 無線LANを使ってリアルタ  
 イムにデータ共有すること  
 で、複数台のローラーの転圧

状況と作業を一元管理し、境  
 界部などに生じやすい転圧不  
 足を防止する。最大8台まで  
 対応できる。G N S S（衛星測位システ  
 ム）補正情報の送受信にイン  
 ターネット回線を使用したN  
 t r i p方式を採用すること  
 で、現場担当者が外部の専用  
 タブレット端末からローラー

に搭載した転圧管理用のパソ  
 コンにアクセスすることも可  
 能で、転圧状況をリアルタイ  
 ムに確認することができる。  
 離れた場所でも外部端末から  
 転圧状況を確認できるため、  
 適切な指示が可能となり、品  
 質向上につながる。

従来の転圧管理システム  
 は、ローラー単体で自らの転  
 圧軌跡や回数を確認すること  
 はできるが、複数台で転圧す  
 る際には境界部分が不明確に  
 なるなどの課題があった。ま  
 た、転圧状況の確認は、ロー  
 ラーに搭載した転圧管理用パ  
 ソコンでのみ表示可能だった  
 ため、現場担当者が転圧管理  
 状況を確認するには、複数台  
 のローラーに同乗する必要が  
 あった。

新たに開発したシステムを  
 搭載したローラーでは、運転  
 者が別のローラーの転圧状況  
 をパソコンのモニターで確認  
 できる。それぞれがどの区間  
 を転圧しているのかが明確に  
 なるため、効率的な転圧が可  
 能になる。

大成ロテックは今後、開発  
 したシステムを積極的に活用  
 し、現場でのさらなる品質向  
 上を図る。